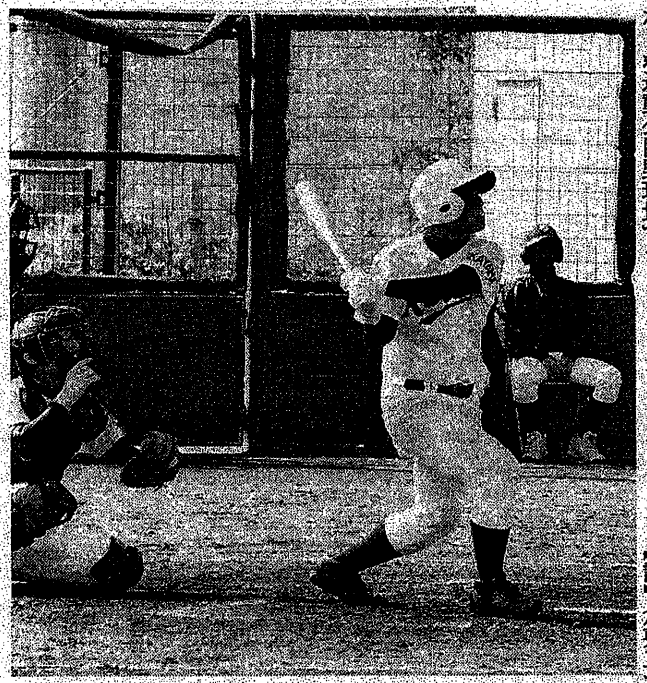
11/26(火)
山陽新聞

倉敷工V2

秋季岡山県高校軟式野球

秋季岡山県高校軟式野球大会（山陽新聞社後援）最終日は1日、高梁市のなりわ運動公園野球場で決勝があり、倉敷工が学芸館に5－0で快勝し、2年連続10度目の優勝を飾った。両チームは、来春の県大会出場権を獲得した。



【倉敷工－学芸館】3回裏倉敷工1死三塁、林が右前打を放ち、5－0とリードを広げる。捕手佐保田＝なりわ運動公園野球場

▽決勝
学芸館 000000000 0
倉敷工 032000000 5
▽三塁打 古米▽林（学）、山本▽二塁打 古米▽暴投 奥山、山本

学芸館		打	安	点
⑧	森 悠	4	1	0
⑤	尾 山	3	0	0
②	佐保田	4	0	0
⑦	林	4	1	0
①3	田 中	3	0	0
H⑨	畑 島	1	0	0
H	馬 場	3	1	0
H	新 田	1	1	0
R	竹 内	0	0	0
③1	奥 山	3	0	0
④	赤 木	2	0	0
⑥	藤原卓	3	1	0
	計	31	5	0

倉敷工		打	安	点
⑧	山 口	4	0	0
⑥	森 内	4	0	0
⑦	神崎康	2	0	0
R	新 谷	0	0	0
7	小 野	0	0	0
⑨	山 本	4	3	1
R9	小 林	0	0	0
③	林	1	1	1
1	矢 尾	1	0	0
1	長谷川	0	0	0
④	中 森	2	0	0
⑤	太 田	3	0	0
5	河 原	0	0	0
②	伊 達	4	0	0
①3	古 米	3	1	3
	計	28	5	5

	振	球	犠	盗	失	残	併
学	4	2	1	0	4	7	0
倉	8	3	4	0	0	6	0

バントでチャンス拡大

【評】倉敷工が序盤に主導権を握り、快勝した。二回、山本の中前打を足場に、敵失と四球などで2死満塁とし、古米が走者一掃の二塁打。三回には山本、林の連続適時打で突き放した。投げては古米が、5回を3安打無失点。救援の矢尾、長谷川も緩急織り交ぜ相手打者を絞らせなかった。

学芸館は、得点圏に進んだ3度の得点機で、あと一本が出なかった。守りのミスが失点につながったのも痛かった。（近藤哲也）

鮮やかな速攻で主導権を奪い、春の県大会準優勝の学芸館を破った倉敷工。就任1年目の鳥越監督は「バントを絡めて好機を広げる。新チームが目指すスタイルにぴたりとはまった」と顔をほころばせた。

象徴的なのは3点を挙げた二回。先頭の山本が中前打で出ると、林の犠打が敵失を誘って無死一、二塁。続く中森のバントで山本は三封されたが、一塁への送球ミスで一、三塁。さらに四球でチャンスを広げ、2死満塁から古米の3点二塁打につなげた。

三回にも犠打を絡め山本、林の連続適時打で勝負を決定づけた。林は「追加点を取って投手を楽にさせたかった」と理想的な展開に笑顔をみせた。

今夏の県大会では2回戦で学芸館に0－1で敗れた。因縁の相手との対戦に主将山口は「先輩たちの分まで頑張りたかった。絶対に連覇したかった」。俊足の選手がいない分、犠打を駆使した緻密な野球を目指そうと地道にバント練習を重ねてきたのが実を結んだ。

今後の目標は来年の春、夏の県大会制覇。この日、3安打1打点と躍した山本は「新チームとして良いスタートが切れた。冬場にしっかり体をつくり、目標を成し遂げたい」と力強く話した。（近藤哲也）